

# 教育研究所だより

令和6年1月号



発行  
岡崎市教育委員会  
教育研究所  
☎83-7770

## 心の中の龍を大切に

教育研究所 所長補佐 川端啓介

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

この度、能登半島を中心とした地域を襲った甚大な災害に対し、心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

かつて、東日本大震災の慰問に訪れたブータン王国のワンチュク国王夫妻が、福島県相馬市の桜丘小学校で、子供たちに龍の話をされたことを思い出しました。国王は子供たちに、「龍を見たことがありますか」と問いかけられ、「私は見たことがあります」と話されました。驚く子供たちに、国王は次のように話を続けられました。

龍は何を食べて大きくなるのか知っていますか。龍は、「経験」を食べて大きく成長していくのです。私たち一人一人の中に「人格」という名の龍が存在しているのです。その龍は、年をとり、経験を食へるほど、強く、大きくなっていくきます。人は、経験を糧にして、強くなることのできるのです。そして何よりも大切なことは、自分の龍を鍛えて、きちんとコントロールすることです。この「龍」の話を、私がブータンの子供たちにする時には、同時に、「自分の龍を大切に養いなさい、鍛錬しなさい」ということを言っています。わがままを抑えることや、感情をコントロールして生きることが大切なのです。

国王は、「自分の中にいる龍を大切に育ててほしい」というメッセージとともに子供たちを励まされたのです。

このメッセージは子供たちだけでなく、私たち教員へのメッセージとしても受け取ることができま。教育の目的の一つは、人格の完成であり、教員の職務の本質は、学校における教育活動を通じて、児童生徒の人格形成に直接携わることです。価値観がますます多様化し、変化の激しい社会において、教育の役割はますます重要となっています。教員が研修を重ねることは、教育の質を向上させる鍵ともいえます。新たな教育理論やICTの導入、異なるニーズへの対応など、常に最新の知識やスキルを獲得し、学び続ける姿勢が、教師の専門性を高め、多様性に対応する柔軟性を養い、困難に立ち向かうための勇気と自信を築きます。それは結果として、児童生徒の学びや成長にも深い影響を与え、教育の発展に寄与することになります。

今年辰年。私たち教師一人一人の心の中の龍も大切に育てていきたいものです。岡崎の先生方にとって輝かしい新たな年が始まりますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年辰年。私たち教師一人一人の心の中の龍も大切に育てていきたいものです。岡崎の先生方にとって輝かしい新たな年が始まりますよう、心よりお祈り申し上げます。

## 1月 休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
12/31	1/1	2	3	4	5	6
休館	休館	休館	休館	○	○	○
7	8	9	10	11	12	13
休館	休館	休館	○	○	○	○
14	15	16	17	18	19	20
休館	休館	○	○	○	○	○
21	22	23	24	25	26	27
休館	休館	○	○	○	○	○
28	29	30	31	2/1	2/2	2/3
休館	休館	○	○	○	○	○

